



東北大学グローバルCOE

## 第3回

# Network Medicine特論

## 講義のお知らせ

# 寶澤 篤 博士

(東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門 教授)

## 地域ゲノムコホート設立の意義 その期待と課題

日時:6月19日(火)17時30分

場所:医学部5号館201号室

東北メディカル・メガバンク事業では、岩手県・宮城県の地域住民を対象に8万人のゲノムコホート設立を目指している。前向きコホート研究は、疾病発症前のベースライン調査を実施し、疾病を発症するまで追跡を続ける必要がある。これには規模的にも時間的にも断面研究や症例対照研究とは比べものにならない費用と負担がかかる。そのような状況でなぜ、地域でゲノムコホートをやる意義があるのかについて解説する。また、地域コホート設立に当たり、考えていかななくてはならないこと、注意を払うべきことについて、演者が参加していた山形分子疫学コホート研究の実例をあげて説明する。その上で、それらの課題に対し、東北メディカル・メガバンクではどのような対策を考えているかについても紹介する。最後に、この事業により、住民の皆様に対してどのような貢献ができるのか、さらに、未来型医療の実現に向けてどのような成果が期待されているかについても紹介していく予定である。

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 中山 啓子(内線8227)